

4 温室効果ガスの排出の状況

計画期間 3 年度目（令和 6 年度）の温室効果ガス排出の状況

①エネルギー起源二酸化炭素の排出量		3,381	t-CO ₂
（温室効果ガス換算）	②非エネルギー起源二酸化炭素（③を除く。）		t-CO ₂
	③廃棄物の原燃料使用に伴う非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO ₂
	④メタン		t-CO ₂
	⑤一酸化二窒素		t-CO ₂
	⑥ハイドロフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑦パーフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑧六ふっ化硫黄		t-CO ₂
	⑨三ふっ化窒素		t-CO ₂
	⑩エネルギー起源二酸化炭素（発電所等配分前）		t-CO ₂
	温室効果ガス総排出量（①～⑩合計）		3,381

5 温室効果ガス排出量の抑制に係る目標の達成状況

（1）温室効果ガス排出量の抑制目標の達成状況

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	総排出量及び原単位排出量
------------------	--------------

項目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績					
	令和 3 年度		令和 6 年度		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
温室効果ガス総排出量	3,566	t-CO ₂	3,459	t-CO ₂	3,562	t-CO ₂	3,368	t-CO ₂	3,381	t-CO ₂
削減率（対基準年度）			3.0	%	0.1	%	5.6	%	5.2	%
温室効果ガスみなし総排出量						t-CO ₂		t-CO ₂		t-CO ₂
削減率（対基準年度）						%		%		%

項目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績					
	令和 3 年度		令和 6 年度		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
原単位あたりの排出量	0.13	t-CO ₂ / m ²	0.1261	t-CO ₂ / m ²	0.1298	t-CO ₂ / m ²	0.1227	t-CO ₂ / m ²	0.1232	t-CO ₂ / m ²
削減率（対基準年度）			3.0	%	0.2	%	5.6	%	5.2	%
原単位あたりのみなし排出量						t-CO ₂ / m ²		t-CO ₂ / m ²		t-CO ₂ / m ²
削減率（対基準年度）						%		%		%

（2）進捗状況に対する自己評価（目標の達成／非達成の理由）

<p>・電力量：基準年度比 82.6%（高効率照明器具更新、エスカレーターモーター更新による効果）、ガス量：基準年度比 129%（熱源空調運転が例年夏場に多かったが、年間通して気温上昇の為、4月・5月・10月も前年を上回った）</p>

備考1 温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3,000トン以上の場合に限り計上してください。

備考2 温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3,000トン以上の温室効果ガスの排出量の合算をいいます。

備考3 原単位あたりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量あたりの温室効果ガス排出量をいいます。

備考4 温室効果ガスみなし総排出量とは、温室効果ガス総排出量に対し、クレジット等の環境価値に相当するもの及び再生可能エネルギー等の利用による温室効果ガスの削減量等を調整したものをいいます。

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況

(1) 自らの事業活動に伴い排出される温室効果ガスの抑制に係る措置の実施状況

取組の区分	具体的な取組の内容	取組の目標	取組の実施状況
省エネルギー・省資源の行動の実践・冷暖房機器	・機器の効率運転（熱源機器・空調機等の定期的な点検、フィルターの清掃。） 中間期に外気を取り入れ、熱源機器の運転を抑える。	・定期的の実施。	・
省エネルギー・省資源の行動の実践・照明	・照明器具を更新時、改装時にLED照明器具へ変更。	・階段等の共用部をLED照明器具へ更新。	・2024年度 誘導灯LED化（スカイル2・3・4・6・7・8F 計6台）、共用部照明器具LED化（スカイルB2・9F、ノバ1F 計7台）貨物エレベーターホール天井灯LED化（スカイル8F）
廃棄物の抑制	資源と廃棄物の分別を徹底、資源の割合を増やす。	・随時、実施。	・随時、実施。
省エネルギー・省資源の行動の実践・昇降機	・エレベーターのリニューアル工事、エスカレーターのモーター更新を実施。	・貨物エレベーター1台更新。エスカレーター4台モーター更新。	・スカイルエスカレーターのモーター12台更新。

指針第 2 号様式

(2) 再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用の状況

ア 計画期間 3 年度目 (令和 6 年度) における利用の状況

導入年度	設備等の種類	概要 (規模、性能、発生エネルギー量等)

イ 上記のうち、他のものに供給した電力及び熱

区分	再生可能エネルギーの種類	温室効果ガス換算量 (みなしの削減量)
電力		t-CO ₂
熱		t-CO ₂

(3) 環境価値 (クレジット等) の活用の状況

計画期間 3 年度目 (令和 6 年度) におけるクレジット等の利用

クレジット等の種類	創出地	温室効果ガス換算量 (みなしの削減量)
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂

(4) みなしの排出量の算定に利用した温室効果ガス換算量 (みなしの削減量) の合計

t-CO ₂

(5) その他の地球温暖化対策に係る措置の実施状況

--

(6) 「環境保全の日」等に特に推進すべき取組の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・ 定時退社に努める。
